

乳幼児期を大切に

～指導者向け資料を作成しました

都教育委員会は、「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」(※1)事業の一つとして、平成21年3月に、指導者向け資料『乳幼児期を大切に～子供の発達の科学的知見と親の学習支援』を作成しました(写真)。

近年、医学、脳科学等の研究の成果により、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる「乳幼児期」の重要性が明らかになってきました。

この資料では、様々な分野の専門の先生方による子供の発達についての解説や、幼稚園、保育園等でのプログラム例などを90ページにわたり紹介しています。

日々乳幼児とその保護者に関わっている職員の方々に活用していただくために、都内の幼稚園、保育園、保健所、児童福祉施設、子育て支援関係施設等に配布しました。

《主な内容》

- 脳と心の発達メカニズム
- 豊かな人間性の基礎を培うために重要なこと
(愛着、生活リズム、食、歯、運動・あそび、メディアなど)
- 発達障害の理解
- 幼稚園、保育園、家庭教育学級講座でのプログラム例 など



資料表紙

(※1) 都教育委員会は、乳幼児期の子供を持つ保護者への家庭教育支援施策として平成20年度から「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」に取り組んでいます。

お問い合わせ

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」

電話03-5320-6859/FAX03-5388-1734

Eメール S900027@section.metro.tokyo.jp

「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」ウェブサイト <http://www.kodomo-seikatsusyukan-tokyo.jp/>

【社会教育指導者研修 基礎セミナー報告】

5月27日、東京都教職員研修センターにおいて、都及び区市町村の生涯学習・社会教育関係職員等、主として新任者・転任者を対象とした「平成21年度東京都社会教育指導者研修 社会教育関係職員等 基礎セミナー」が開催されました。

「Ⅰ 社会教育行政のいま～『社会教育法改正』と生涯学習・社会教育行政の動向」、「Ⅱ 現代的課題に対応した社会教育施策～親の現状を踏まえた家庭教育支援」、「Ⅲ 東京都における社会教育施策の動向」「Ⅳ 人権学習指導者研修～都における人権学習事業の推進」の4つのプログラムで実施され、25の区市から、約60名の方々が参加されました。

プログラムⅠにおいて、笹井宏益氏(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)からは、「平成18年に改正された教育基本法では、『第一章 教育の目的及び理念』に(生涯学習の理念)が、『第二章 教育の実施に関する基本』に(社会教育)が規定されています。」と、「社会教育」の基本的な位置づけを中心に「現代の社会教育が目指すもの」について解説していただきました。受講者から「この4月に異動したばかりだったので、特に生涯学習と社会教育の関係がわかり、とても参考になった。」といった感想が多数寄せられました。

また、プログラムⅡの鈴木みゆき氏(和洋女子大学教授)の講義を受講された方からは、「社会教育の現場にいながら、子供の発達そのものについては学ぶ機会があまりないことに、今回参加してあらためて気づかされた。その意味で、鈴木先生の講義はとても興味をひきつける内容でためになった。」などの感想が寄せられました。

